

2019年3月期 第2四半期決算説明会

2018年10月29日

日本システムウェア株式会社

取締役 執行役員副社長 桑原 公生

- 1. 第2四半期決算**
- 2. 事業トピックス**
- 3. 通期業績見通し**

Humanware By Systemware

1. 第2四半期決算

連結業績 概要(第2四半期累計)

(単位:百万円)

	2019/3期 2Q累計 実績	期初計画比		前年同期比		期初計画	2018/3期 2Q累計 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
		売上高	16,752	+152	+0.9%		
営業利益	1,409	+49	+3.6%	+81	+6.1%	1,360	1,327
同率	8.4%	+0.2p	/	△0.0p	/	8.2%	8.3%
経常利益	1,437	+67	+4.9%	+93	+6.9%	1,370	1,343
同率	8.6%	+0.3p	/	+0.2p	/	8.3%	8.4%
当期純利益	954	+14	+1.5%	+40	+4.4%	940	913
同率	5.7%	+0.0p	/	+0.0p	/	5.7%	5.7%
受注高	17,397	/	/	+693	+4.2%	/	16,703
受注残高	14,423	/	/	+1,190	+9.0%	/	13,232

➤ 売上、利益ともに、ほぼ計画通り推移し、増収増益

ITソリューション事業 概況(1)

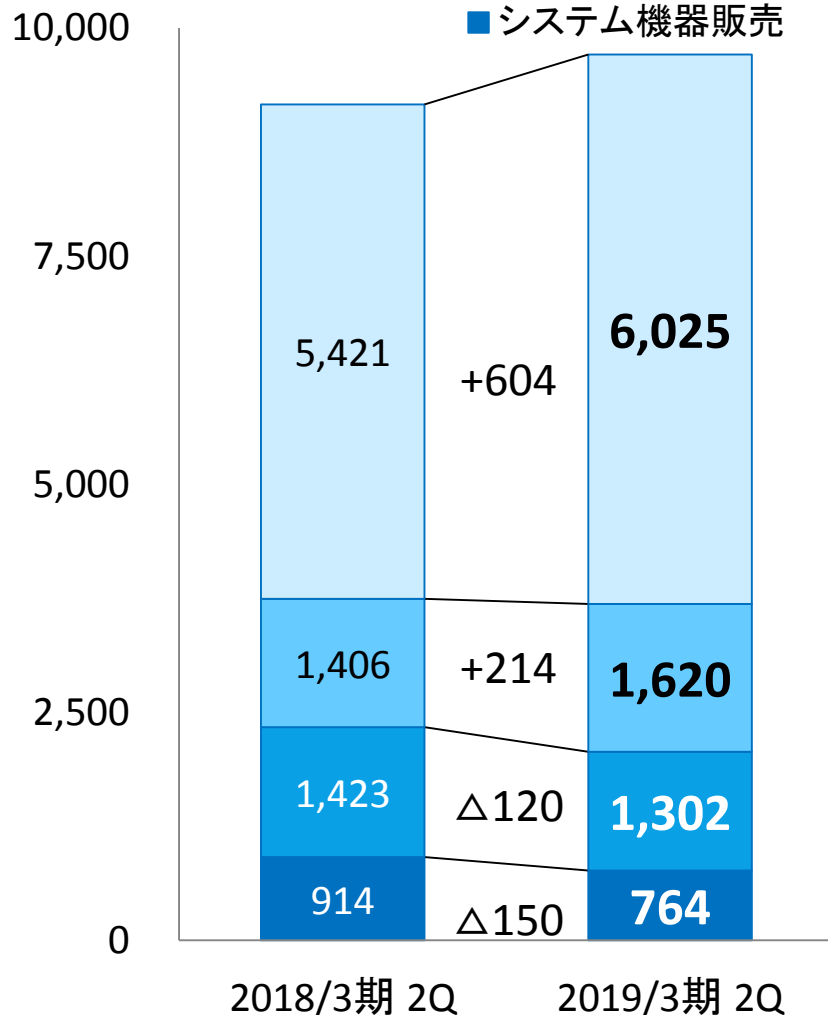
(単位:百万円)

	2019/3期 2Q累計 実績	期初計画比		前年同期比		期初計画	2018/3期 2Q累計 実績	
		増減額	増減率	増減額	増減率			
		売上高	9,745	+45	+0.5%			+536
ソリューション事業	6,025	/		+604	+11.1%	/		5,421
システム運用事業	1,620			+214	+15.3%			1,406
データセンター事業	1,302			△120	△8.5%			1,423
システム機器販売	764			△150	△16.4%			914
その他	31			△11	△26.7%			43
営業利益	492	+32	+7.1%	+47	+10.7%	460	444	
同率	5.1%	+0.4p		+0.2p		4.7%	4.8%	
受注高	10,114	/		+306	+3.1%	/		9,808
受注残高	11,102			+973	+9.6%			10,129

ITソリューション事業 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)



主な増減要因

【ソリューション事業】

- 官公庁・団体
中央官庁や団体向けシステム開発が増加
- 情報・通信
WEB・ECサービスを中心に増加
- 小売
既存顧客深耕、新規顧客開拓により増加
- 金融・保険
損保系の対応領域拡大により増加
- 製造
前期大型案件の反動により減少
IoT関連システム構築は堅調に推移

【システム運用事業】

- リモート運用やデータ連携サービス等が増加

【データセンター事業】

- ハウジング・ホスティングは苦戦
- クラウドやIoT関連サービスは堅調推移

【システム機器販売】

- 小売業を中心とした既存顧客向け減少

プロダクトソリューション事業 概況(1)

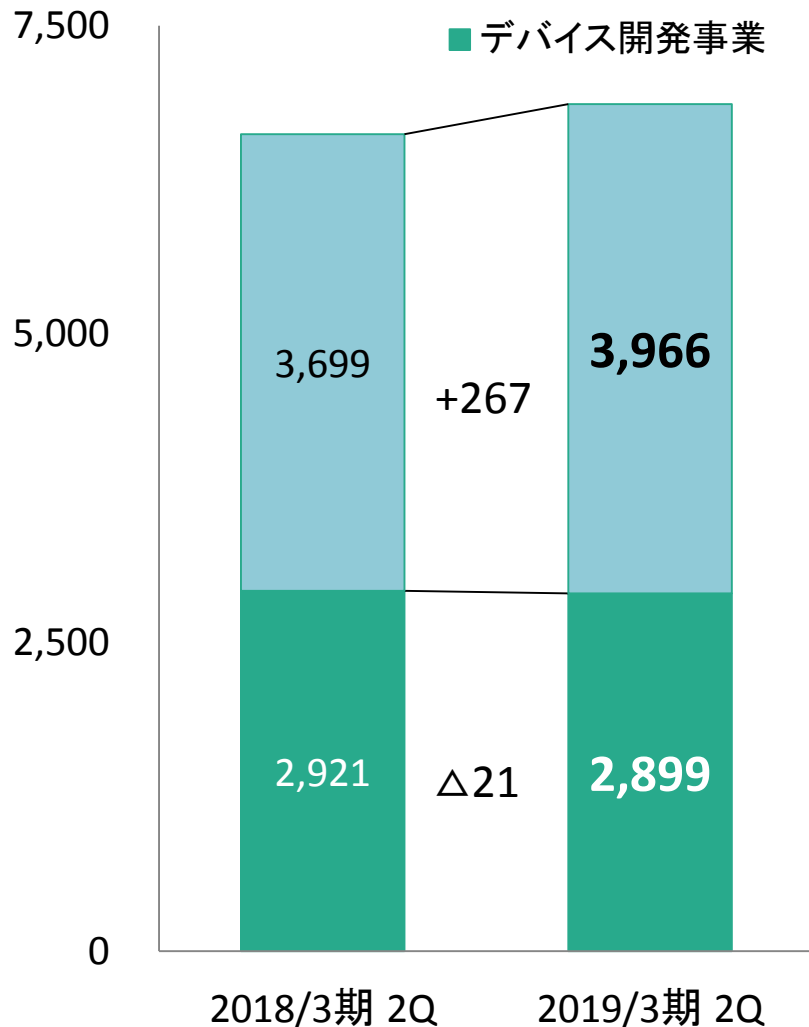
(単位:百万円)

	2019/3期 2Q累計 実績	期初計画比		前年同期比		期初計画	2018/3期 2Q累計 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	7,006	+106	+1.5%	+297	+4.4%	6,900	6,709
組込みソフトウェア開発事業	3,966	/		+267	+7.2%	/	
デバイス開発事業	2,899			△21	△0.7%		
その他	139			+50	+57.6%		
営業利益	916	+16	+1.9%	+33	+3.8%	900	883
同率	13.1%	+0.1p		△0.1p		13.0%	13.2%
受注高	7,283	/		+387	+5.6%	/	
受注残高	3,320			+217	+7.0%		

プロダクトソリューション事業 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)



主な増減要因

【組込みソフトウェア開発事業】

- オートモーティブ
IVI系の新規顧客開拓、走行安全やモビリティ系の増加により増加
- モバイル
通信キャリア向け開発案件が減少
- 設備機器
製造設備、医療機器などの新事業領域、SW/HWのワンストップ開発事業の拡大
- 通信
既存案件を中心に横ばいで推移

【デバイス開発事業】

既存顧客案件が一部減少も、得意分野で横展開。好調な前期水準を維持

※IVI(In-Vehicle Infotainment) : 主に車載システムにおいて、情報(インフォメーション)と娯楽(エンターテイメント)を提供するシステムの総称

連結貸借対照表

Systemware

(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期末	2018年3月期 期末	前期末比	主な増減要因
流動資産	16,953	16,587	+366	現金及び預金+515 受取手形及び売掛金△887 仕掛品+511 前払費用+105
固定資産	8,707	8,782	△74	
資産の部	25,661	25,369	+292	
流動負債	5,426	5,917	△490	買掛金△210 未払消費税等△125
固定負債	2,192	2,138	+53	
負債の部	7,619	8,056	△437	
純資産の部	18,042	17,312	+729	利益剰余金+730
流動比率	312.4%	287.4%	+25.0p	
固定比率	48.3%	48.3%	△0.0p	
自己資本比率	70.3%	68.2%	+2.1p	

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2019年3月期 2Q累計期間	2018年3月期 2Q累計期間	前年同期 比増減額	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	6,593	4,852	+1,741	
営業活動による キャッシュ・フロー	979	1,110	△131	税前四半期純利益+1435 売上債権+887 たな卸資産△634 法人税等支払△512
投資活動による キャッシュ・フロー	△231	△85	△145	有形固定資産の取得△80 無形固定資産の取得△40
財務活動による キャッシュ・フロー	△229	△149	△80	配当金の支払△222
現金及び現金同等物の増減額	515	874	△358	
現金及び現金同等物の四半期期末残高	7,108	5,726	+1,382	

Humanware By Systemware

2. 事業トピックス

当社のIoTサービス体系



分析・AI

Powered By ThingWorx
ToamiAnalytics

ToamiVision

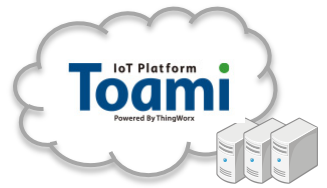
画像分析/動画分析
Deep Learning

アプリケーション

ENE S M A
つながるエネルギー管理システム

ToamiRemote
Powered By Secom

用途特化型サービス
(エネルギー/農業/製造業/
スマートごみ箱/セキュリティ)



IoTプラットフォーム

IoT Platform
Toami
Powered By ThingWorx

ファクトリーIoTスモール・
スターター・パッケージ



広域ネットワーク

LPWA

エッジデバイスソリューション

Edge Device Controller

Toami Ready

arm MBED ロボットIoT

近距離ネットワーク

センサーテクノロジー

BLEスマートセンサN

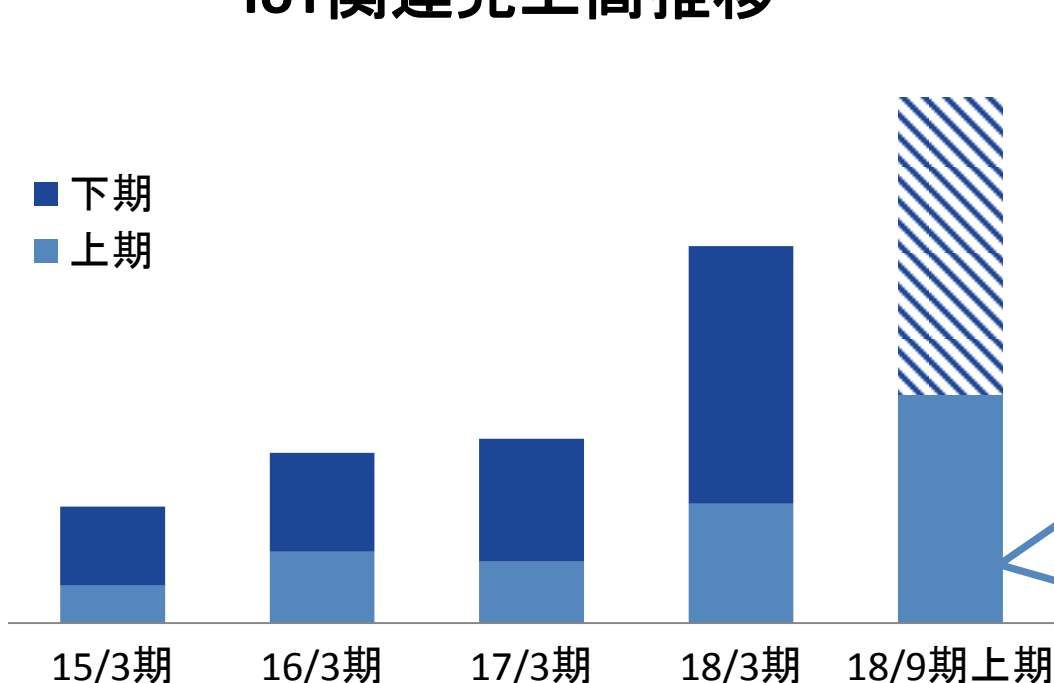
各センサーメーカーとの
アライアンス

ワンストップでサポート

IoTサービスの売上高推移

- 新規顧客開拓、既存顧客深耕による受注拡大
- GW出荷増によるストック型売上の増加
- 新技術・サービスの実装・検証進む

IoT関連売上高推移



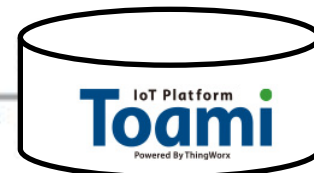
IoT Platform
Toami
Powered By ThingWorx

- 前年同期伸長率
約70%
- 累計契約社数
100社超

ノーリツ様のToami横展開事例

ノーリツ様が目指す浴室事故の低減と利便性向上に貢献

- 給湯器リモコンやスマートフォンアプリのデータを集約
- 入浴者の見まもりと遠隔操作を実現
- 外部システム連携や柔軟な改修が可能



※宅内無線LANルーターと接続できる環境に限ります



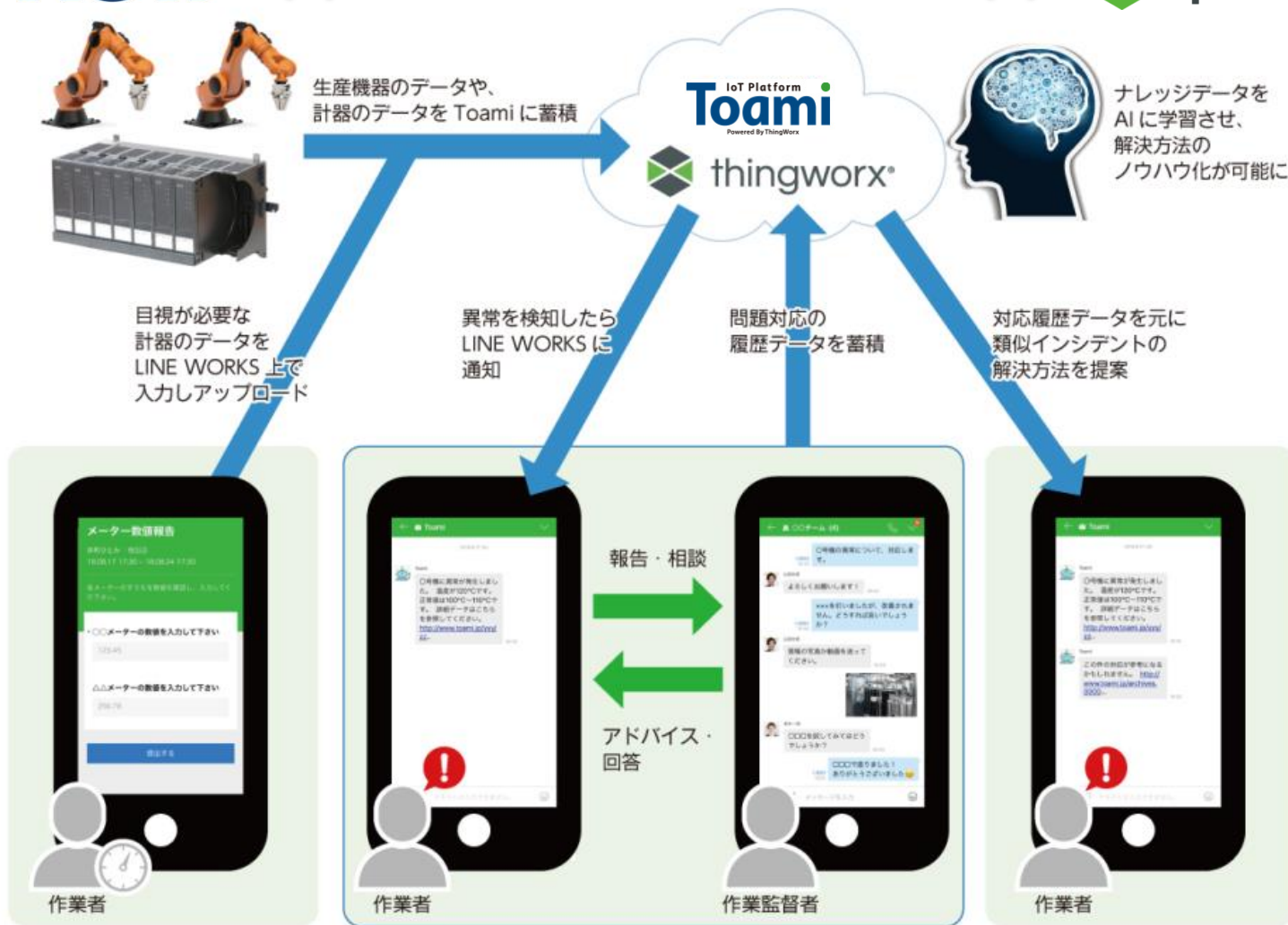
入室時の画面(※)

入浴時の画面(※)

ワークスマイナル社との協業

製造現場におけるIoTサービスの利用を強力に推進

NSW × **LINE WORKS** ×  **ptc**



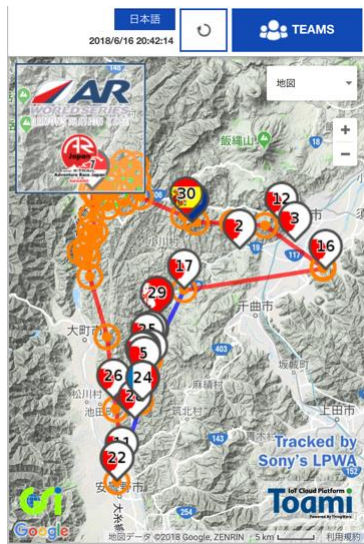
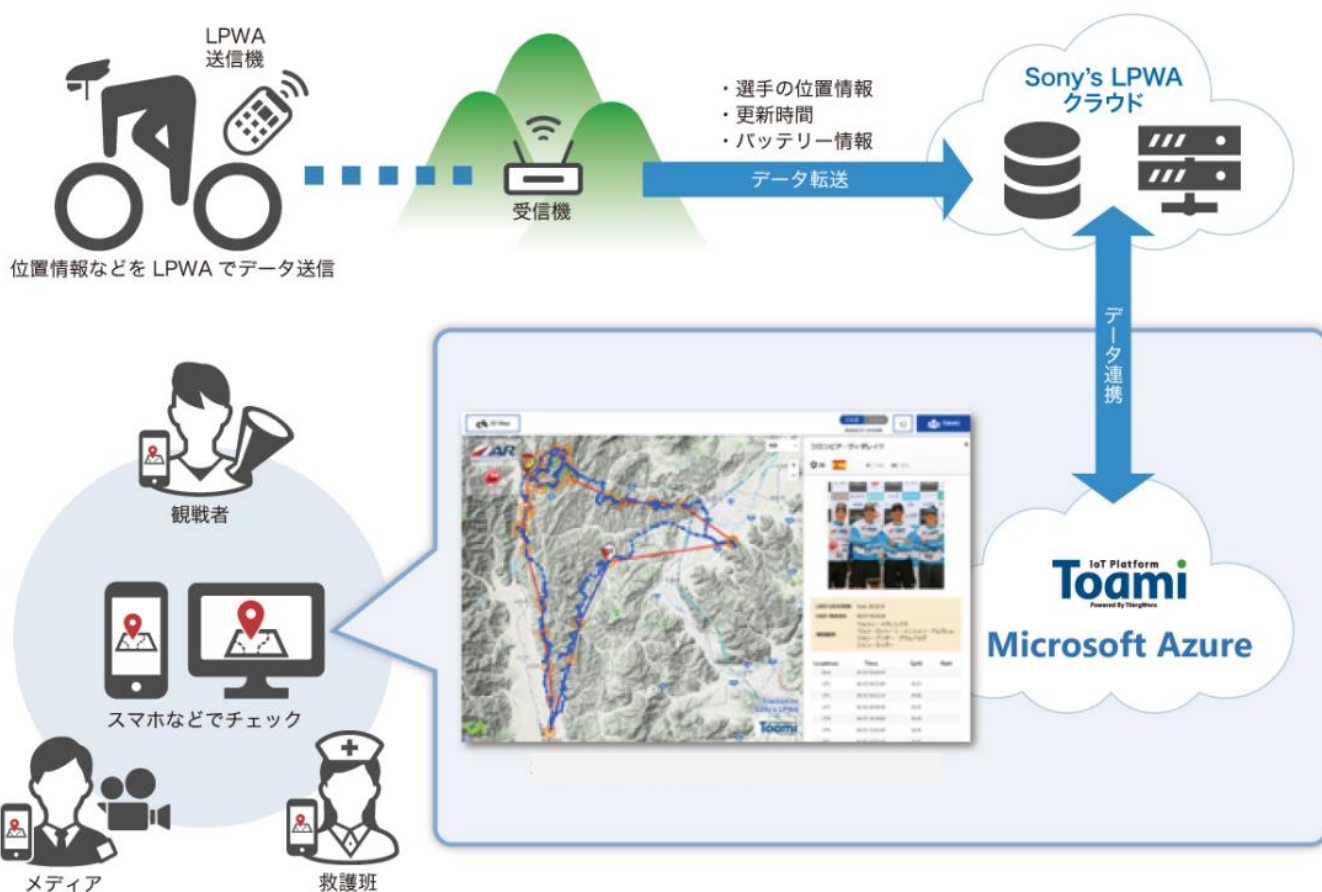
アドベンチャーレースへの技術協賛

GPSTラッキングデータ可視化により選手の位置情報把握と安全管理を実現

「NISSAN X-TRAIL Adventure Race Japan in NAGANO 2018」大会運営をサポート



選手に防水対応GPSを装着



スマートフォンのアプリ画面

RPAソリューションの拡充

業務自動化による生産性向上で働き方改革を支援

- 2014年～ EC運用自動化ソリューション「Creoss-Robo」
- 2017年～ バックオフィス業務自動化ソリューション
「Creoss-RoboEX」

【活用領域】 マスタ運用、他システム連携、レポーティング、不正利用探知、会員情報更新、受注データ処理、入金情報突合 など

【導入実績】 ●EC運用バックオフィス業務のルーチンの全自動化
●外部データ(Excel等)の分解・突合・集約・入力・レポート業務の全自動化
など

- 2018年～ システム運用業務自動化サービス

フィックスポイント「Kompira」とNSWのRPAツールを連携し、システム運用業務におけるプロセス全体の自動化を実現

スマート決済ソリューション

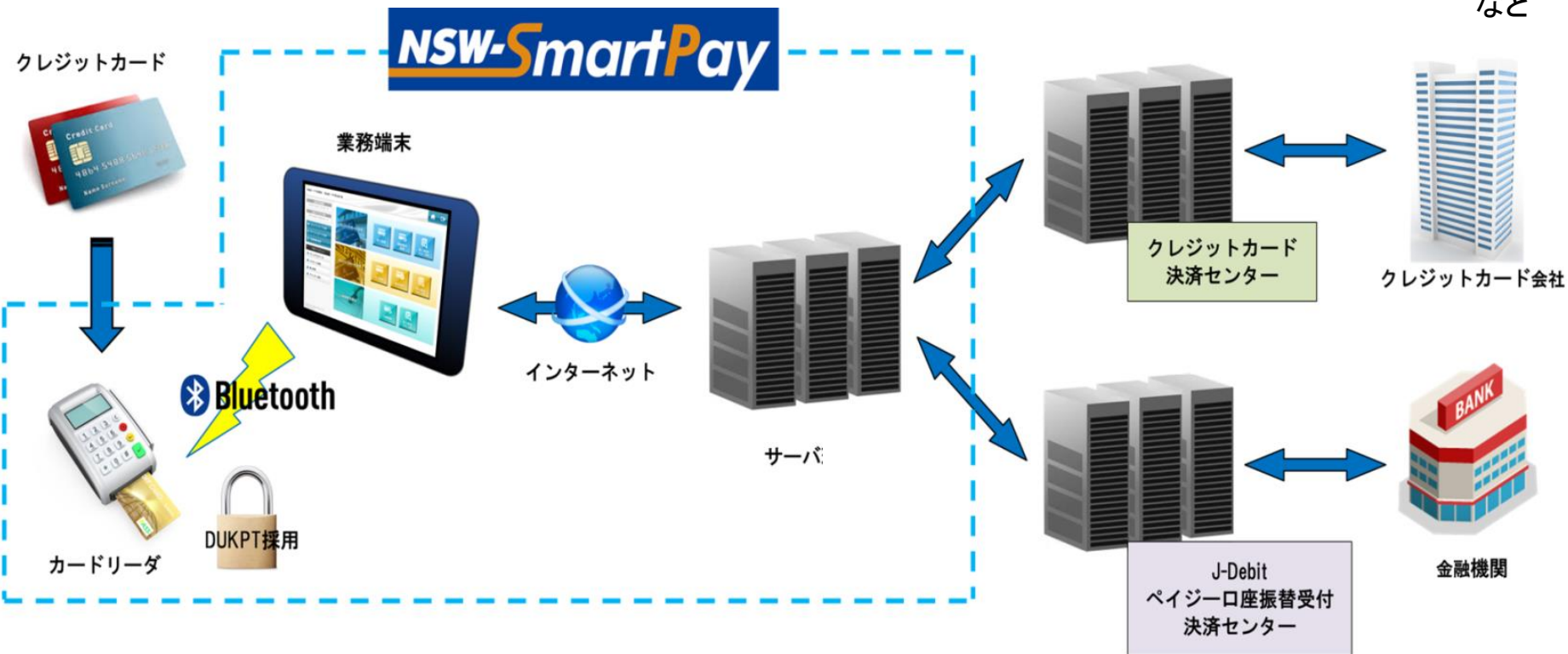
スマートフォンやタブレット端末、PCなどの業務端末と、モバイルカードリーダーを組み合わせ、時間や場所を問わず様々な決済が可能に

- 場所を問わない即時決済が可能
- 多彩なカードブランドに対応
- 様々な決済方法に対応
- 業務システムとの連携も低コストで実現

■ ご利用シーン

生命保険・損害保険等の契約業務
訪問販売・宅配・配達等の集金業務
イベント・展示即売店での店頭業務

など

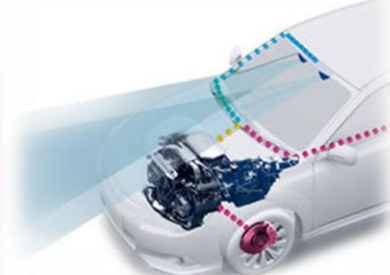
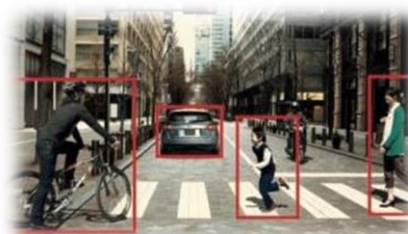


オートモーティブ関連の取り組み(1)

➤ ADAS開発(事例)

ステレオカメラ認識アルゴリズム開発／評価

- 評価仕様設計、評価用デバッグコード作成
- 解析ツール改良
- ビッグデータ管理
- GPU、ギガビットイーサネット利用による高速処理



➤ 自動運転・ADAS 開発支援ソリューション

NVIDIA Jetson TX2搭載 自律走行ロボット開発キット 「VEK-AI 2」

ディープラーニングやセンサーフュージョン技術を使用した研究開発や検証を迅速に実現



オートモーティブ関連の取り組み(2)

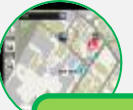
コネクティッド・カーへの取り組み

車載

受託案件



コックピット



I V I 端 末

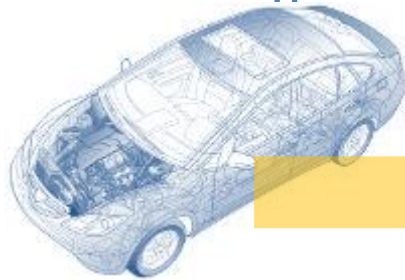
カメラセンサー

車体制御

など



O B D II
(自己診断機能)



ドライブレコーダー



ウェアラブル

など

車内



スマートフォン



通信ゲートウェイ

車外

Cloud Server



IoT Platform
Toami
Powered By ThingWorx

積極的なサービス展開

- 配送管理システム(TMS)
- カーシェアリング
- 車載IoT
- EV車両管理システム

Humanware By Systemware

3. 通期業績見通し

連結業績予想

(単位:百万円)

	2019/3期 下期計画 (通期計画－ 上期実績)	前年同期比		2019/3期 通期計画	前年同期比		2018/3期 実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	18,247	+664	+3.8%	35,000	+1,497	+4.5%	33,502
営業利益	1,590	△22	△1.4%	3,000	+59	+2.0%	2,940
同率	8.7%	△0.5p		8.6%	△0.2p		8.8%
経常利益	1,582	△48	△3.0%	3,020	+44	+1.5%	2,975
同率	8.7%	△0.6p		8.6%	△0.3p		8.9%
当期純利益	1,116	△36	△3.2%	2,070	+4	+0.2%	2,065
同率	6.1%	△0.5p		5.9%	△0.3p		6.2%

- 売上・利益ともに過去最高更新を目指す
- 戦略的事業投資を継続し、さらなる成長に向け事業基盤の強化に取り組む

セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2019/3期 下期計画 (通期計画－ 上期実績)			2019/3期 通期計画			2018/3期 実績
		前年同期比		前年同期比				
		増減額	増減率	増減額	増減率			
IT ソリューション	売上高	10,954	+485	+4.6%	20,700	+1,021	+5.2%	19,678
	営業利益	657	△23	△3.4%	1,150	+24	+2.2%	1,125
	同率	6.0%	△0.5p		5.6%	△0.2p		5.7%
プロダク ソリューション	売上高	7,293	+178	+2.5%	14,300	+475	+3.4%	13,824
	営業利益	933	+1	+0.1%	1,850	+34	+1.9%	1,815
	同率	12.8%	△0.3p		12.9%	△0.2p		13.1%

- ITソリューション 従来型SI事業の付加価値向上、サービス型事業への転換を加速
- プロダクトソリューション 成長市場・新規分野への積極的進出によるコア事業のさらなる深耕。サービス展開を強化

成長戦略と財務健全性を両立した財務戦略の実現

資本効率

- 健全な自己資本の水準を維持
- 株主資本利益率(ROE)の持続的成長

株主還元

- 従来方針である安定配当(年間25円)の継続実施
- 財務状況に応じた機動的な株主還元の検討

成長投資

- 注力事業であるIoTやオートモーティブ事業、また、当社の強みを発揮できる分野に対する積極的投資